

TOPIC

分かち合い、受け継ぐ学び

Education to Share for the Future



10月の稲刈りにて

50年の歴史の中で、アジア学院のキャンパスでは山ほどの学びが分かち合われ、それはまた世界中に受け継がれてきました。今号では、2023年度「だからこそ実現した「分かち合い、受け継ぐ学び」を紹介します。」

2023年度
研修報告

自分のためにとどまらず 大柳 由紀子（副校長・教務主任）

2023年度も神様の豊かな恵みとお導きのうちに、多くの人々に支えられながら研修を無事終え、13カ国26名の本科生が無事に卒業を迎えました。

コロナ感染症の流行は未だ収まってはいませんが、今年度は4年ぶりに学生たちが3月末から来日することができました。うち2名は到着が4月後半にずれ込んだものの、オリエンテーションを8度にわたって繰り返した昨年とは異なり、4月の入学式にほぼ全員がそろって始めることができたのは大きな喜びでした。

26名の学生たちが卒業にいたるまでの道のりは平たんなものではありません。自分のコミュニティを離れ、家族や友人と離れ、自国とは異なる環境に中々適応できない学生も少なくありません。気候も食事も乗り越えるべき壁となった学生たちがいきました。授業も生活も英語で行われる環境に苦労する姿をたびたび目にしました。それでも職員に背中をおされ、クラスメイト同士支え合い、ボランティアや研究生の皆からはげまされながら、学

生たちは9カ月、36週間、248日、1892時間に渡る研修期間を完遂いたしました。

2023年度の最大のイベントとなったのは、もちろん学院の50周年です。そして50周年記念式典に参加した卒業生から学ぶことができたのも、今年の学生たちにとっては得難い機会となりました。学院の学生たちの中には卒業生によって推薦された者、卒業生とともに働く者が多くいます。今年卒業生の息子も在学しました。学院から巣立っていった卒業生たちが、それぞれの地で新たな世代を育て、そこにアジア学院がかかわることができるとは、感慨深いものがありました。

アジア学院の研修は、一言でいうならばリーダーとしての自己変革を促すものです。彼らには農村指導者となるために必要な成長、変革を求められています。そこに必要であろう知識や技術、経験はアジア学院が提供しますが、その一つ一つを消化し、自分の物として、いってみれば「自分が作り替えられて

（次ページへ続く）

いく」行程が、このアジア学院の研修といえる
かも知れません。彼らの学びは彼ら自身のため
のものではなく、地域の人々、さらには将来の
世代の人々のためにあるのです。彼らはそれを
理解しているから、アジア学院の学びはこの
キャンパス、この9カ月だけにとどまらないの
です。そしてだからこそ、自分たちが乗り越え
た経験を次の世代にも与えたい、と卒業生たち
は望むのかもしれない。

学生たちが出した報告書にこうありました。

私たちは、幸せになることを学びました。

私たちは、互いに愛し合い、支え合うことを
学びました。

私たちは、有機複合農業を学びました。

私たちは、自分の尊厳を大切にすることを
学びました。

私たちは、環境を悪化させる可能性のある
行動に心を配ることを学びました。

私たちは、労働の尊厳について学びました。

私たちは、多くのことを学んできました。

全能の神が、彼らの行く末とコミュニティの
未来をお守りくださいますように。彼らのコ
ミュニティに対する夢とビジョンが、豊かに実
現する日を職員一同は信じています。



マリオ・ジョン・ポール・レベロ

インド 2014年卒、2023年度トレーニングアシスタント
フランシスコ・ザビエルの宣教会 ソサエティ・オブ・ピラール
司祭、農場管理者

Mario

新型コロナウイルスのパンデミックが起
こる前、マリオはアジア学院で始めた
学びをさらに深めたいという思いを私に話し
てくれました。そして今年度、研究科生とし
て彼はアジア学院にやってきました。2014
年に学生として入学した時は尊敬する司祭
(アジア学院卒業生)の勧めでやってきました
が、帰国後、アジア学院での学びが司祭
としていかに役立ったかを実感しました。周
囲のコミュニティは霊的にも肉体的にも生
活を分かち合ってくれる司祭を必要として
いることに気づいたのです。家畜飼育によっ
て収入を確保するという学びを人々に分かち
合うことで、コミュニティの人々の衝突を減ら
すことにつながりました。

マリオの言葉には重みがあり、しだいに皆
から尊敬されるようになり、教会や学校、集
会に講演者として招かれるようになりました。
私がこのことを実感したのは西日本キャラ
バンに同行した時でした。「チャンスや新しい
機会をつかみ、学ぶことを辞めず、神が人
生に何をなさるかを見つけるように励みなさい」。
このメッセージを通訳することができたのは
幸いでした。帰国後も、彼は学び続け、
分かち合い、人々が神との霊的生活、そして
被造物や共同体との肉体的生活において成
長し続けるのを見守りたいと願っています。
マリオに神の祝福あれ!

VOICE

アジア学院
の住民たち

学院を卒業後、再び学院に戻って
1年間専門分野の研修と本科のサポートを行った
「トレーニングアシスタント」を紹介します。

文



ジョナサン・マッカーリー
チャブレン・共同体生活



卒業生 UPDATE

アジア学院の50年に及ぶ卒業生たちは蓄積された知識と経験の宝庫です。昨年9月、創立50周年式典に集まった卒業生たちの話に触発された現役の学生たちの姿を目の当たりにし、私たちの胸も熱くなりました。その中から2つのエピソードを紹介します。



ダネスの女性貯蓄貸付グループ。後列右から2番目がダネス、前列右から3番目がサマン。



スチュアート (右) とオティム (左)

ダネス・ヒム Daneth Him

カンボジア 2010年卒

ダネスはカンボジアのメソジスト教会を通じて、村で女性の貯蓄貸付グループを立ち上げました。女性たちは自分たちのお金を共通基金にプールし、そこから融資を受けることができます。例えば養鶏など小規模な家族ビジネスを始めるためにお金を借りることができます。ダネスは、村の女性たちと信頼を築くために多大な時間と忍耐を費やしました。ある年、特に献身的で高い能力をもつサマン・チャンというメンバーに目をつけ、アジア学院への進学を打診しました。最初は躊躇していたサマンでしたが、アジア学院のことを聞き、ダネスと一緒に英語を勉強した後、2017年にアジア学院に入学しました。現在、サマンはこのグループのリーダーとして、以前にも増して活発に活動しています。

50周年式典の際に学院の女子寮に滞在したダネスは、何人かの学生と何時間も語り合っただけで彼女らを励まし続けたので、「お姉ちゃん」と呼ばれるまでになりました。

スチュアート・センパラ Stuart Sempala

ウガンダ 1994年卒

スチュアートはアジア学院の研修を修了してすぐに、キタリヤ小学校という学校に農場を作りました。「子どもたちに食べ物の育て方を教えることから始め、その後、鶏やヤギの飼育を始めました。収穫した食料で、給食プロジェクトを導入しました。以前はおなかを減らして授業を抜け出していた子供たちが学校に留まるようになったのです」。このプログラムは30年間続いています。

最近までウガンダ北部の状況は非常に危険でした。政府と反政府武装勢力の戦闘で、多くの地元住民が命を落としました。スチュアートは「今日の種は明日の希望」と呼ばれるプログラムを開始して子どもたちが学校に通えるように支援しました。20年近く経った今、多くの子どもたちが学業を修了し、大学に進学しています。このプログラムに参加した若者のひとり、アロン・ネビン・オティムは、2023年にアジア学院に加わり、リーダーシップのスキルを学びました。先輩であるスチュアートのように人々に伝えたいと思ったからです。

翻訳



井澤 皓
総務・PR

文



スティーブン・カッティング
卒業生アウトリーチ

アジア学院の使命を遂行するだけでなく、次の若い農村指導者たちの道を切り開いてくれた先輩卒業生たちに感謝しています。

THANKS!



(写真上) 学生たちと作ったキッチンガーデンにて
(写真下) 土のオーブンでピザを焼いてくれました

クレア&ラッセル・オーナーさんご夫妻

長期ボランティア from USA (2023年2月~2024年2月)

Claire
& Rusty

普段は出会えない人たちと出会い、 家族のように過ごした時間は宝物です!

夫婦でオーガニック農園を
運営しています!

「お二人がアジア学院に来る前にしていた
ことについて教えてください。」

私たちはこれまで25年間、アメリカ・ペンシルヴェニア州で「クワイエット・クリーク・ハーブ農園と田舎暮らしの学校 (Quiet Creek Herb Farm & School of Country Living)」という教育農場を運営してきました。12ヘクタールの敷地に有機栽培のハーブ、花、果物、野菜を植え、子どもから大人までたくさんの人に、地球にやさしく生きる方法を学ぶ場を提供しています。

「今も現役で農場を運営している中、1年間
アジア学院に来ることを選んだのですか?」

1996年以来、何百人ものボランティア、何千人もの生徒たちと共にクワイエット・クリークは成長してきました。農場と一緒に私たちも歳を重ねるにつれ、この農場を「次へ受け継ぐ」ことに力を注ぐようになりました。次の世代が世界を変えることができるようになります。また、クワイエット・クリークで多くの人々が私たちと分かち合ってくれた贈り物を私たちからも分かち合っ、ボランティア活動による「親切の輪」を他のコミュニティにもつなげたいと思いました。私たちがアジア学院にいた間、クワイエット・クリークの教育と管理は2人の若者に任せています。



(写真上) 学生たちと一緒に建設した土のオーブン
(写真右) 朝の集いで「愛の伝え方」を披露するラスティさんとクレアさん



「アジア学院生活の中で特に思い出深いことは?」
クレア..一番感銘を受けたのは朝の集いです。みんなが平等で、誰もが語ることができて、尊重され、尊敬を認められる。特別な時間です。
ラスティ..私も同感です。それと私にとっては、学生たちと一緒に畑で働く時間。一番みんなのことを知ることができたのはその時間ですね。

深い次元で多くを分かち合うことができました

「お二人は宣教師としてここに来ていてという側面もありますね。宣教師であることはご自分にとって、ここでの生活においてどんな意味がありましたか？」

ラストイ・・・そうですね。宣教師や牧師になることが「フルタイムで神に仕える」と表現されることもあります。私としては、キリスト者であれば誰でも、どんなことをやっつけても、それぞれの生き方を通してフルタイムで神に仕えていると思います。だから、あまり特別なこととは思っていません。

クレア・・・私たち夫婦はどんなときにもキリストの使命(mission)に生きていっていると思っています。農業を教えるという立場は、神の創られた世界をケアすることを通して信仰を分かち合うのに最適です。よく「どう



してそんなに幸せそうで、前向きなの？」と聞かれますが、いつも「感謝でいっぱいだからだよ」と答えます。そういった何気ない会話が、信仰の深い次元について話すことにつながります。神が無条件に私たちを愛されたように互いに愛し合うことを通して、言葉を真に行動に変えていくのです。

「お二人は通常のボランティアの仕事に加えて、色々なプロジェクトを始めて、みんなに技術や知識を分かち合ってくれました。『ヒューゲルカルチャー』と呼ばれるキッチンガーデン、ミミズコンポスト、石鹸作り、紙作り、パンやピザ作り、そして土のオープン建設。これらはどんな思いで始めたのでしょうか？」

クレア・・・自分たちが始めたといっても、全部アジア学院のメンバーから始まっているんです。例えばキッチンの2人のスタッフがキッチンガーデンにとっても興味を持っていたり、50周年事業について話し合っていた時に紙を作るアイデアが出てきたり。土のオープンは、ガスのオープンやコンロを持っていない学生たちのニーズに合った技術として分かち合ったものです。相手の話をよく聴いてニーズを知った上で自分のアイデアを伝えれば、みんながワッと乗ってくれます。自分たちに与えられたギフトを用いて人を巻き込むことは本当に楽しかったです。

ラストイ・・・石鹸作りは自分の農場でも教えていたことですが、アジア学院で学生に石鹸作りを教えているスタッフがいたので、互いのやり方に興味を持って教え合いました。あとは、私はもの作りが好きですし、

完成したのを見たり感謝されるのが好きですから(笑)

「逆に、アジア学院からもらったものはありますか？」

ラストイ・・・私はこの多様性のある環境で暮らしたことで、人や文化についてより多く学べたと思います。そして自分自身について。人とかかわるのか、人をどう理解するのか。

クレア・・・仲間に入れてもらい、この家族の一員になったと感じたこと、それ自体がとても大きいことでした。アメリカと日本の間には戦争の歴史があり、それは私にとって重いことでした。でも来日して皆さんがとても温かく迎えてくれて、暗い歴史のことも率直に語り合うことができたことで、一歩前に進めたと思います。ここでは平和を生み出すことをみんなが考えていて、個人と個人として「共に生きる」ことがそれ

アメリカでも♪ アジア学院イベント!

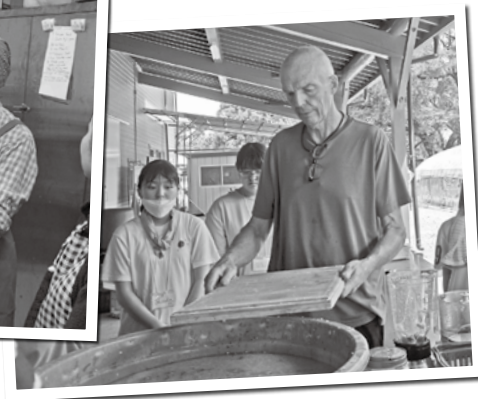
クレア&ラストイが運営するペンシルヴェニア州のクワイエット・クリークにて、10月5-6日にアジア学院サポーターイベントを開催します! ご興味のある方はお問い合わせください。

お問い合わせ先: ecu@ari.ac.jp (国際関係課)

Quiet Creek Herb Farm & School of Country Living のウェブサイト (英語)
<https://www.quietcreekherbfarm.org/>



(写真上) クレアさんのピザ作り教室
(写真右) 紙作りを教えるラストイさん



を可能にしています。最初は持続可能な農業の学校を手伝うつもりで来たけれど、ここでの経験はそれよりもずっと上を行っていました。

二人・・・この人生を変えるような機会を与えてくださった皆様のサポートに感謝いたします!

「1年間、アジア学院のコミュニティに豊かな愛を注いでくださりありがとうございました!」

インタビュー・翻訳



江村 悠子
総務・支援者サポート

50周年の年が終了！
次の50年に向かっていきます！

50周年記念基金スタート！

目標金額
2,000

50周年記念基金目標金額達成！
ご支援に心より感謝いたします！

英語俳句絵本を発行！

荒川校長の書籍発行！

山羊、豚、鶏舎の前の看板完成！

学校林遊歩道完成！



共に学ぼう、農村の未来のために

9/16 記念式典開催！

オンライン同窓会開催！

「アジア学院の未来図」と
50周年関連プロジェクトの一部

ツリークライミング講座

オフグリッドハウス完成間近

全建物LED照明導入！

教室棟の太陽光発電設置！

“楽しい未来”はみんなと一緒に♪

50周年に完成した「アジア学院の未来図」は、見ているだけでワクワクしてきます。この未来図は、「こうしようよ」「そうだね！」とすぐに来上がったものではありません。多様な背景を持つ私たちが、アジア学院の大切な価値観と向き合い、様々な人と話し合いを重ね、悩み、祈り、考え、作り上げた協同作業の賜物です。

2022年冬、持続可能なキャンパスを実現するためのアイデアがコインニアホールの床いっぱい並びました。それをまず組織、農場、教務、地域等に分類し、もう既に始まっているもの、今すぐ始められるもの、将来実施したいものに分けました。そして、その一つ一つを更に吟味し、文章化し、見える化をする。時には意見がぶつかり、時には深く共感し、考えれば考える程わからなくなってしまう瞬間もありました。その長く、困難なプロセスがあったからこそ、「一緒にこんな未来をつくりませんか！」と皆さんに自信を持って伝えることができます。

2023年度、様々なプロジェクトが始まり、アジア学院の未来図が少しずつ具現化しています。アジア学院のこれまでの持続可能な働きを再認識し、またさらにレベルアップしていけたら願っています。



佐久間 都・ヴェロ
事務局長

寄付者御芳名

(敬称略・順不同)

集計期間

2023年11月1日～2024年1月31日

寄付金がアジア学院に入金された日に基づき掲載しております。入金日は、口座振替の場合はご決済の1ヶ月後、クレジットカードの場合は2ヶ月後です。

サポーター寄付・一般寄付・50周年記念特別寄付

【北海道】荒谷淑子・陽子 池田美奈子 井澤敏郎 WitmerRobert・妻中竹敏雄・陽子 小菅謙三 佐藤雅一 宿田成宏 高橋浩二 田中真樹子 浜島和子 三橋修村 本憲子 遺愛女子中学高等学校 (キ) 札幌北一条教会 (教) 野幌教会 (公) 平取聖公会 (教) 利別教会 【青森県】木村幸子 (カ) 本町教会 【岩手県】浅利友重 澤谷常清・ひろみ 中原真澄 渡辺利彦 【宮城県】小丸孝男 KennethSchmidt 庄子泰子 門間清 (学) 尚綱学院中学高等学校 (教) 宮城中地区教会婦人会 【秋田県】丹波望

【山形県】志藤正一 須藤フミ 荘内教会保育園 (教) 新庄教会 【福島県】新井秀 川瀬安希 杉原義雄 茶園いずみ 長峯久夫・巖松谷健司 オリーブの木 (教) 川谷教会 (教) 須賀川教会 (教) 山都教会 【茨城県】飯田昌子 大柳穂子 角田ひろみ 金井美紀 金谷喜一 田邊永里子 塚田洋子 平出由佳里 伏木正進 山口亜葵 渡辺貞純 渡部敬男 IKE 設計開発事務所 (キ) 古河伝道所 土浦友の会 (教) 日立教会 (教) 水海道教会 (公) 水戸聖ステパノ教会 聖マリヤ婦人会 水戸友の会 竜ヶ崎教会 【栃木県】赤羽正美 阿久津節子 AppauBernardTimothy 阿部真希子 鮎瀬和子 荒川浩 荒川教会 (学) 教会しおん 飯塚仁美 飯沼一浩 飯沼淳子 池田桂子 池永ゆか 井澤隆 磯由佳 伊藤順子 岩澤智之 印南智美 植竹伸一 榎本将江 大浦智子 大谷雅代 大塚宏一 大森貴子 大屋弘子 大柳由紀子 小川万里子 小倉一郎・恭子 柏谷重明 村桐洋史 金子榮子 川上深雪 川添信義 吉川宗芳 島木弘木 村裕子 久留生利美 グレイズ 郡こいく子 小市深雪 小川明夫 小川誠 駒庭千秋 駒場昌子 五味潤明美 小山博子 齋藤てる子 早乙女順子 坂入貴子 佐藤範明 沢谷千亜紀 塩野玄機 白石雄治 杉田恭一・文子 杉原侑子 瀧澤昌弘 武智明美 田中淳子 田中順子 田中淳子 田中隆子 辻野弘行 辻野留奈 内藤崇 中川善昭 長山くみ 西川峰城 山口子 丹羽寿美 布川武男 野田光子 橋本穂子 花塚洋史 濱口正遠 林明夫 林真直子 原田明子 原田三恵子 福本知恵子 福本光夫 藤井さやか 藤田祐子 藤本渉平 FroedeKathleen 本間佳奈子 増山律子 又木成美 McCurley 里美 三浦宏子 三澤京子 三橋恵子 宮岡明子 棟形さつき 村田榮 室井正子 八木沢淳 矢嶋美華 山下三奈 LichtenJohn 和田献一・静枝 (教) 足利東教会 西那須野幼稚園 家の教会しおん (教) 宇都宮教会 宇都宮友の会 (キ) 宇都宮松原教会教会学校 小山キリスト教会 小山友の会 (教) 鹿沼教会 (学) さつき幼稚園 (カ) 厳律シスター会 那須の聖母修道院 (キ) 栃木教会 那須友の会 那須りんどうの会 那須ワイズメンズクラブ (教) 西那須野教会 鹿沼キリスト教会 ベンシオン・シャローム (学) 星の社中学校・高等学校 (教) 益子教会 (学) みふみ学院 みふみ認定こども園 (教) 矢板教会 (教) 四條町教会教会学校 立正佼成会 那須教会 【群馬県】磯信子 鶴崎寿 亀田瑠子 清水真由美 田島龍一 永井順子 蓮見千明 (教) 甘楽教会 (公) 北関東東区婦人会 共愛学園小学校 (教) 群馬地区婦人会 全国友の会 北関東 高崎友の会 前橋友の会 【埼玉県】東洋子 池内清子 茨木泰隆・公子 金田佐久子 榊幸雄 菊池千代子 北野啓子 小西さい子 小林和夫・加名子 小林洋一 鈴木京子 高木三枝子 武真人 千村雅信 戸井田紗耶香 長岡静志・治子 三浦幸雄 渡辺栄一 (教) 上尾合同教会 (教) 安行教会 (公) 浦和聖徒教会 (教) 浦和東教会 (特活) エクアドルの子どものための友人の会 (公) 川越基督教会 (教) 久美東教会 (教) 越谷教会 (教) 埼玉大通り教会 (教) 埼玉地区婦人会 (教) 草加教会 草加友の会 東京聖書集会 「なくさめの箱」 (教) 所沢みくに教会 (教) 西川口教会 (教) 東大宮教会 教会学校 (教) 東所沢教会 (キ) 南浦和教会 【千葉県】青川貞愛 天野恵英 天野潤 安東優 猪狩友一 多佳子 石崎利夫 小関光二・征子 金子聡子 岸憲秀 齊藤祐子 佐久間健佐 藤伊一郎 佐藤千支子 関祐造・美枝子 多田万里子 中村敦子 野田節子 林正弘・栄恵 藤田朋子 藤原敬治 古屋朝則 山崎尚子 山本栄子 (教) 市川三本松教会 市川友の会 (バ) 同) 運河キリスト教会 (教) 柏教会 (教) 鎌ヶ谷教会 千葉友の会 (教) 千葉本町教会 松戸友の会 八街グレイス教会 (教) 四街教会 【東京都】会津麻美子 赤井希 阿部明子 阿部哲夫 新井伶子 粟谷しのぶ 石井智恵美 石川信克 石田満 石山千佳 市川創 犬丸敬子 岩切勉 岩田達明 ウィリアムズ郁子 植木あゆみ 上田浩子 内海愛 海老根智一 遠藤仁美 王山 OkumaGail 大谷英治 大谷みさお 大塚綾 大野綾子 大橋祐治 大村陽子 岡本和子 鹿島照代 片岡大造・仁枝 加納貞彦 神谷幸男 柄澤真理子 川口直二 川原正信 菊池あゆみ 木全由規 楠田修司 久世陽子 倉敷英子 栗山昌子 黒田俊介 河野秋子 小杉直美 後藤政美 小林レイ子 小林豊 近藤真子 齋藤潤 佐藤照子 佐藤弘徳・百合子 志田悦子 篠田学 篠田智子 篠田レイ 柴崎等 鈴木佳子 鈴木隆・美智子 鈴木由美 高島敦子 高野美恵子 高橋直子 高山アキ 瀧本菜穂 武田正一 竹野裕子 田代洋子 建元寿寿 野田高子 出口子 土岐剛平 内藤淳一郎 長塚紀子 永沼真理子 永山スミ子 並木浩一 鷺川治樹 西ひでき 丹羽証 能登尚子 野村紘子 野村正宜 馬場元毅 浜田めぐみ 林千根 原かおり 久山道子 日高好男・啓子 平尾壽雄 平岡昭子 広澤敏明 深谷いづみ 福田一成 藤田琴子 古川文江 古谷恵美子 本田典子 牧甫 真下弥生 松田浩造 丸山正文 深山延純 向山功 村松司 望月聡一郎 本山順子 桃井和馬 森哲也 森川恵美子 安井直彦 矢野正貴 矢吹正道 山縣史子 山田貴子 山田正 山根正彦 横手仁美 横手靖彦 渡辺多恵子 渡邊友香 (学) 青山学院女子短期大学同窓会 青山学院初等部 (学) 青山学院中等部 青山学院幼稚園 浅草教会 ウェスト東京ユニオンチャーチ (教) 志村栄光教会 (カ) おおげのフランチスコ姉妹会 (教) 学生キリスト教友愛会 (教) 吉祥寺教会 教会学校 (教) 経堂緑岡教会 (教) 銀座教会 国立聖書研究会 恵泉女子学園中学・高等学校 宗教部 (教) 小石川明星教会 (学) 香蘭女子学校校友会 (学) 国際基督教大学高等学校 (教) 国分寺教会 (バ) 同) 駒込平和教会 (一財) JELA (学) 女子学院 (教) 白鷺教会 (教) 杉並教会 (公) 聖オルバン教会 (カ) 聖パルナデッタ第一修道院 (公財) 全国友の会 振興財団 全国友の会 中央部 (教) 洗足教会 (教) 玉川教会 多摩友の会 (教) 鶴川北教会 鶴川シオン幼稚園 (教) 田園調布教会 シオン会 東京霞ヶ関ライオンズクラブ (教) 東京教区南支区婦人委員会 (公) 東京聖三一教会 東京第一友の会 東京第二友の会 (学) 東洋英和虹の会 (教) 豊島岡教会 (教) 中目黒教会 (教) 永山教会 (教) 成瀬が丘教会 (キ) 西経堂伝道所 (学) 日本聾話学校 (教) 原町田教会 (教) 東久留米教会 婦人会 (教) 東村山教会 (教) ひばりが丘教会 (教) 碑文谷教会 (教) 百人町教会 (特活) フェアトレード・ラベル・ジャパン 普通連学園 (福) 保谷教会 (教) 水元教会 (教) 三鷹教会 (教) 南三鷹教会 (教) 武蔵野緑教会 (学) 明治学院高等学校 (教) 目白教会婦人会 (教) 目白町教会 (教) 弓町本郷教会 (教) 用賀教会 (株) ヨベル (教) 代々木教会 附属シオン幼稚園 (宗) 立正佼成会 一食平和基金 (カ) 煉獄援助修道会 【神奈川県】古庄祥子 小川あつこ 青木由希子 浅野原一 安積力也 阿部恵 荒井明子

石原章子 飯泉中一 今川信夫 岩澤裕基 岩谷幸子 梅澤昌子 江頭眞彦 江坂宏子 遠藤抱一 大社社子 尾崎久美 尾崎正夫 小沢美幸 笠置正民 加藤真規子 金子尚子 上條直美 上田豊子 川辺美弥子 清久丈太 黒澤雅子 桑原安子 駒形朋子 斉藤一男・恵子 佐柳光代 進宏一 新藤雅敏 杉山君枝 関根ゆかり 仙頭靖夫 高田英明 武田由香 中島菜々子 中本尚孝 嶋崎那津子 西村由子 野原まりや 福田邦男 堀川浩邦・恵子 本川鏡子・南海子 本田忠行 松木強・優子 松島直子 村田山子 メンセディーク・ジェフリー 持由美子 望月義郎 彌重仁也 (教) 美山小川淑子 山崎千佳 山本肇正・GenungClaudia 横野千晶 米田ミチル 渡邊彰 (教) 愛川伝道所 厚木幼稚園 (教) 生田教会 (教) 伊勢原教会 バザー委員会 伊勢原幼稚園 (学) 大塚平安学園ドレーパー記念幼稚園 (バ) 同) 霞ヶ丘教会 (教) 片瀬教会 鎌倉友の会 (教) 川崎教会 教会学校 (学) 関東学院六浦小学校 相模友の会 (教) 相模翠ヶ丘幼稚園 桜ヶ丘幼稚園 捜真女子学院 教会学校 高等学校 (バ) 同) 捜真バプテスト教会 (キ) 茅ヶ崎東教会 (教) 辻堂教会 (キ) 鶴見教会 (教) 東京教区西南支区婦人部 東京第四友の会 (バ) 同) 日本バプテスト厚木教会 (学) フェリス女子学院中学校・高等学校 (教) 藤沢教会 (教) まぶね教会 (学) 横須賀学院 (教) 横浜上原教会 (教) 横浜上倉田教会 (学) 横浜共立学園 横浜友の会 (教) 横浜北教会 (公) 横浜山手聖公会 (カ) レデンプトリスチン修道院 【新潟県】荒井真理 大西洋 海津武尚 中村美奈子 萩原正次 (教) 中条教会 (教) 新潟教会 (教) 新潟地区教会婦人会 連合 (教) 東中通教会 【富山県】酒井信治 【福井県】福井友の会 【山梨県】賀川一枝 澤登早苗 寺島昭二 土門由紀 藤井伸 (学) 聖愛幼稚園 峽南幼稚園 山梨英和学校 【長野県】青木栄作 石島美枝子 柴田光昭 朴大信 弓場法 (キ) 上田教会婦人会 聖十幼幼稚園 (教) 富士見高原教会 【岐阜県】河本紀子 谷口明 (キ) 岐阜教会 【静岡県】安間英行 坂本直子 鈴木静恵 武井隆一 古橋克己 星野正興 松村芳男 松本伸吉 丸山信子 山下清二 山田昌範 山中忠 (教) 伊豆高原教会 (キ) 磐田西教会 (学) 磐田栄光教会 深沢教会学校 (学) 聖隷クリストファー中・高等学校 (教) 松崎教会 【愛知県】青木栄一 伊藤早苗 伊藤幸慶 岩田佐和子 岡本康男 鈴木麗子 塚田昇 西原和広 深谷ひろみ (教) 中京教会 (学) 名古屋学院 名古屋ユニオンチャーチ 【三重県】鎌田陽房 坪井涼子 中西敏行 【滋賀県】太田宜子 岡田妙 大津友の会 【京都府】上田祐未 大谷隆彦 阪谷俊明 櫻井鋭子 中村満・真紀子 細井順 三角瑞代 メンセディーク・マール 山本響 京都外国語大学 (教) 京都上賀茂教会 (公) 聖アグネス教会 国際会衆 【大阪府】大川四郎 大本和子 金石文興 川俣茂見 満紀子 合田隆史 陳野友洋 筒井百合子 藤井元子 山下紘正 (教) 阿倍野教会 (公) 石橋聖トマス教会 (学) 大阪女学院 大阪友の会 (教) 希望ヶ丘教会 (教) 天満教会 (教) 豊中教会 (教) 浪花教会婦人会 【兵庫県】片山陽平 黒田喜久子 島田恒 豊留かよ 三輪恵愛 村瀬義史 森宗秀敏 山本愛子 (公) 芦屋聖マルコ教会 (カ) カルメル会修道院 (学) 関西学院 (学) 関西西学院 (学) 啓明学院 (教) 神戸イエス団教会 (教) 神戸栄光教会 神戸ユニオンチャーチ (カ) 西宮中央教会 (カ) 善きサマリア人修道会 【奈良県】池淵康彦 (教) 大和キリスト教会 【和歌山県】田尻忠邦・須賀子 【鳥取県】(学) 良善幼稚園 【岡山県】岡山友の会 【広島県】高石孝子 野村篤子 福山天使教会 天使幼稚園 【山口県】片山由美子 (カ) キリスト・イエスの宣教会 防府修道院 【愛媛県】河井宇史 (教) 新居浜西部教会 教会学校 【香川県】木村富美子 【高知県】田中茂太郎 【福岡県】荒川淑子 津崎子 中村翠 西岡裕芳 北九州友の会 【佐賀県】坂本元嗣 中川孝子 【長崎県】山上嘉孝 (教) 長崎銀屋町教会 【熊本県】山根誠之 【大分県】大分友の会 【宮崎県】佐々木さつき 【鹿児島県】植松節子 大谷ともよ 阿久根めぐみこども園 のそ幼稚園 【沖縄県】小笠原春野 (公) 沖縄教会 古聖ヤコブ教会 【海外】久世たかお 中村翠 HellerDaniel

寄付金 実績状況 11月 4,213,083円 12月 22,590,668円 1月 2,318,212円 合計 29,121,963円 (内 50周年特別寄付金 4,633,000円)

寄付金領収書について 口座振替・クレジットカードでご寄付頂いた場合、所得税法により領収書の発行及び領収日は、アジア学院に入金された日とさせていただきます。

書き損じハガキ

【北海道】久世そらち 村本憲子 【青森県】(カ) 本町教会 【岩手県】酒匂節子 【茨城県】篠崎栄子 【栃木県】鮎瀬征夫 五十部亜希子 CuttingSteven 篠崎栄子 金子榮子 村村裕子 小山博子 塩野玄機 瀧澤昌弘 田代幸江 田中真喜子・瑛子 谷山貴 遠山定子 豊田多佳子 永森裕子 野田光子 (教) 西那須野教会 ほんだ梨園 【埼玉県】池内朗 鈴木俊之 細川敦子 三浦幸雄 宮城葉子 (教) 熊谷教会 【千葉県】竹内由か 多田万里子 (バ) 同) 運河キリスト教会 松戸友の会 【東京都】粕谷博子 吉川容 平岡昭子 山下直子 山田貴司 (カ) おおげのフランチスコ姉妹会 (株) 建設設計アーキフォルム (公) 三光教会 天の魚出前プロジェクト 【神奈川県】小川あつこ 浅野康一 高橋昌子 西村由子 樋口真鈴 堀川浩邦・恵子 松本栄子 宮崎静一 森田吉世江 矢野令子 WE ショップ ころほく日吉店 【新潟県】鈴木美恵子 【富山県】マクニコル恵子 【山梨県】佐藤愛希 寺島順子 【長野県】森田矩子 【静岡県】望月和子 【愛知県】林真史 (三重県) 加藤弘子 【滋賀県】岡田妙 【大阪府】金石文興 長縄幸子 (教) 豊中教会 【兵庫県】垂井美子 福井のぶみ 森澤正明 【広島県】高石孝子 【高知県】田中茂太郎 【鹿児島県】植松節子

一品寄付

【栃木県】阿久津正弘 岸正子 木村裕子 久保田隆行 けむじみ 杉田万由子 高村京子 高山由貴 瀧澤昌弘 田中真 西海好子 橋本定雄 人見恵子 松澤安夫 森藤美由紀 宇都宮友の会 マ・メゾン 光星 (カ) 松が峰教会 マザーテレサ共済者会 【埼玉県】福島洋子 【東京都】大谷みさお 小幡達夫 山田貴司 山本春夫 YokokawaJoanna 吉村祐子 (株) 建設設計アーキフォルム (学) 女子学院中学校・高等学校 宗教委員会 (教) 中目黒教会 【富山県】碓井道子 【長野県】森田矩子 【静岡県】松村岳史

(医) 医療法人 (医社) 医療法人社団 (学) 学校法人 (カ) カトリック (株) 株式会社 (教) 日本基督教団 (キ) 日本キリスト教会 (公) 日本聖公会 (公財) 公益財団法人 (公社) 公益社団法人 (財) 財団法人 (社) 社団法人 (宗) 宗教法人 (特活) 特定非営利活動法人 (バ) 同) 日本バプテスト同盟 (福) 日本福音ルーテル教会 (有) 有限会社

4.13^土

13:00 ~ 15:30

第52回

入学式



会場 アジア学院コイノニア食堂

送迎 那須塩原駅発 12:30 アジア学院発 15:20

草の根のコミュニティの発展を目指して集う学生たちの学びを応援してください。どなたでもご参加いただけます。

4.19^金 ▶ 27^土

OPEN 11:00~17:00 ※4/21(日)は閉店

古本市

インドカレー&チャイ販売

4/19, 20, 26, 27(金・土)

※マイ食器のご持参にご協力ください。

会場 那須セミナーハウス (アジア学院隣接)
那須塩原市槻沢420-22

全国から寄贈されたベストセラー、文庫本、絵本、美術書などが100円～。ぎっしりと並べられた本に囲まれて、ゆったり流れる時間をお楽しみください。

物品寄付のお願い

ご家庭のご不用品で、こんなものがありましたら、ぜひご寄付ください。学院内で活用させていただきます。

※中古良品可。★付きのものは、事前にご連絡ください。

※送料は寄付者様にご負担をお願いしております。

事務用品

- 書き損じはがき・未使用/使用済切手
使用済切手は、日本のものと海外のものを分けてください。
- 裏が無地の大判カレンダー
口頭発表や掲示物に使います。

キッチン用品

- 食品保存袋
ジップロックなど
- フライパン★
直径30-32cm程度
- 電動ハンドミキサー★
- ミルサー★
- 食器用スポンジ★

その他

- 洗濯機★
製造後10年以内のもの。

5.2^木 ▶ 4^土

13:30集合 15:30解散

English Farm Camp



宿泊先 那須セミナーハウス (アジア学院隣接)

対象 小学生以上

参加費 1人目 3万円、2人目以降 1.5万円/人

お申込 4/25までにアジア学院ウェブサイトよりお申し込みください。

GWの恒例行事。英語を使いながら楽しく「いのちと食べ物」に触れてみませんか？

職員異動のお知らせ

新職員

岡田 英里 (2023年4月～)
野菜作物

「2021年の卒業生です。皆さんに楽しんでいただける美味しい野菜を作っていきますので、ぜひご訪問ください！」

ジャック・リクテン (2023年4月～)
国際関係

「2013年に40周年事業に携わって以来、何度もアジア学院を訪れてきました。これから多くの支援者の皆様にお会いできることを楽しみにしています！」

退職

大谷 崇
畜産

ヤギや豚、そして学生たちに優しく仕えてきました。

ラピアル・ラモン・J・エスメリオ
FEAST (給食・食育)

料理と音楽でコミュニティを豊かにしてくれました。

福島 昌代
食品加工

クッキーやジャムなどの人気商品を手がけました。